

三遠南信地域交流たずねある記(2) 三遠地域にみる南信州

## 兵越林道で南信州と繋がる ～水窪町（浜松市天竜区）～

にしうれ 西浦はくりや 店主 本永善之氏

三遠南信地域の交流現場を訪ね歩くシリーズ。今回は遠州地域からの報告となる。

水窪の街を走っていると南信州の清酒の看板を取り付けた酒屋さんを見つけた。前の道路は国道152号線で、旧秋葉街道。

南信州との交流のお話を伺えるのではと思い、飛び込んだ。



「喜久水」の看板がある酒屋  
(浜松市天竜区水窪町奥領家)

### －事業について教えてください

昭和30年に父親が酒屋を創業し、私で2代目。最初はこの対岸で商売をしていたが、現在地に移って20年程になる。

「喜久水」を扱いはじめたのは、飯田線が佐久間ダムにより水窪廻りになった昭和30年頃。飯田線や水窪ダムの工事、近辺の土木工事や営林署の現場へ飯田方面から工事関係者が大勢来ており、「喜久水はないか」という話が出たのがきっかけ。喜久水酒造(株)さんは、この地域を卸を介さない直取引としていて、歴代担当者がきめ細かく対応してくれて取り扱いが増えた。その当時、飯田からは国道151号線新野峠付近が未改良だったため、酒を積んだトラックは153号線で根羽村へ、そこから茶臼山を通過して豊根村へ降り、水窪まで来た。当時水窪には16軒の酒屋があったが、月2回、4トン車に満載した酒を当店で半分降ろす程取り扱った。



水窪の街では「喜久水」の入った酒屋、飲食店の看板がいくつか目についた

水窪の人も「喜久水」を好んで飲む。ただ遠州地域の他地区では、佐久間町では飯田方面から来た人がいて若干売れているが、あとは殆ど飲まれていない。

### －南信州との交流の状況はどうか

昭和45年頃までは、水窪の魚は飯田線の電車で連結した貨物車で飯田から運んでいた。水窪の人にとって魚といえば、塩サンマ、塩サバ、イワシなどであるが、それらは飯田市場から来たものであった。ただ、塩イカは水窪では食べない。

水窪町は、浜松市など遠州地域中心部から遠く、雨量規制や崩落などで途中の道が年に数日位閉鎖になる。また遠州地域の中では雪が多く、遠州中心部から来る車にはスタッドレスタイヤやチェーンなど滑り止めを持っていない車が多い。そのような配送上の問題から当町にはコンビニが一軒もない。

水窪と南信濃とを結ぶ兵越林道は、積雪時に長野県側は必ず除雪をするので、除雪しない静岡県側の雪は深い。厳冬期にも通れない日はない。兵越林道が開通して南信濃の商工業者との付き合いが始まった。当時、南信濃地区から飯田方面へは



本永善之氏

赤石林道経由であり平岡経由の湖岸道路も開通していなかったから、南信濃地区商工業者としては飯田方面より遠州方面へ商圏を拡げる意図があったと思う。当店で兵越林道で長野県側へ出かけ、祝儀袋は飯田の水引業者から、雑貨は飯田卸団地の業者から、南信濃の肉のスズキヤさんからジングスを仕入れてくる。

水窪の人の買い物というと、浜松方面へは車をやや飛ばし気味で1時間30分、飯田方面とはほぼ一緒だが、飯田はアップロード界隈の狭い範囲に一通り店が揃っており、店舗間の移動が楽。浜松の商業施設ゾーンは渋滞になるためそうはいかない。飯田でのショッピングの都合よさを判っているのは水窪では多数派ではないかもしれないが、結構水窪から飯田へ行っていると思う。

水窪町商工会役員の時南信濃商工会と交流事業が始まった。最初はソフトボール大会などであったが、県境を挟んでいることに因み、峠の国盗り綱引きという趣向を考えついた。最初は兵越林道の道路上でやったが、やがて綱引き広場ができるなど、このイベントが盛り上がってきている。昨年秋で31回を数えている。

困るのは、南信州の人達は生真面目すぎる。綱引きを必勝態勢で取り組んでいる。親睦面も考えて欲しいものだ。だが、その生真面目さが大鹿大西公園や阿智の花桃の里の今の賑わいをつくったのだと思う。自分の代ではどうなるか判らないものを、未来を信じ、地道に木の苗を植え続けた人がおり、それを支える人が地域にいた、ということが凄いと思う。

### 一三遠南信自動車道への期待は

遠州側の進捗状況は、東栄IC～佐久間IC間が平成30年度に供用開始予定である。佐久間IC～水窪IC（IC名はいずれも仮称）間はこれまで事業化に至らなかったが、近く動きが出てくるようだ。水窪IC～水窪北IC間は現道活用区間だが、私とすれば、青崩トンネルが開きさえすれば現道であっても状況は劇的に変わると思う。

先程述べたが、現状の道路でも南信州方面への行き来がある。観光面では、私の知り合いは温泉が好きで、豊橋から湯谷温泉、東栄温泉、豊根温泉をパスしてまで、かぐらの湯まで通っているという。それだけ魅力的なこと。私も青崩トンネルが開いて入浴料がもう少し安くなれば家の風呂は使わず毎日でも通いたいくらいだ。

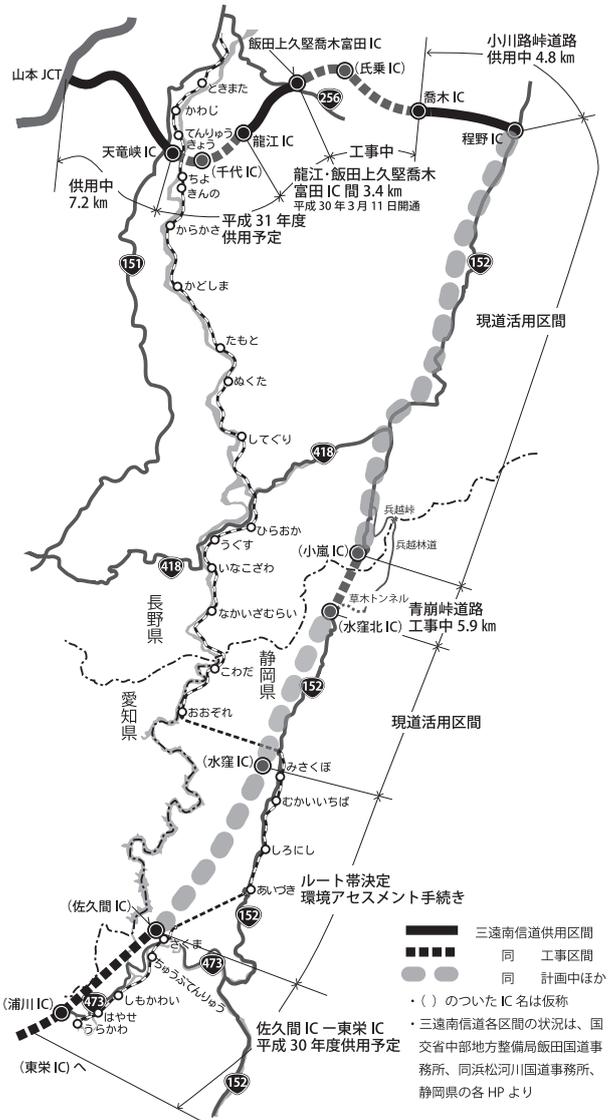
また南信州との取引を増やしたいとする水窪の製造業者がいるし、遠州地方から日本海方面への物流となると、これからは三遠南信道がメインとなる。物流業界にも大きな変化があるのではないかな。

### 一リニア中央新幹線への期待はどうか。

リニアは長野県駅に1日（1時間）に何本停まるか、リニア開通後に浜松駅の「のぞみ」「ひかり」「こだま」の停車がどうなるか、いずれもはっきりしていないので、現状では微妙なところだ。

（文中、清酒の銘柄表記は「喜久水」で統一してあります）

三遠南信地域県境部の交通体系と三遠南信道の現況



（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）